

## 開催日程

|           | 事項                      | 時間                         | 場所                   |
|-----------|-------------------------|----------------------------|----------------------|
| 5日<br>(土) | 新旧理事会                   | 9:30~11:00<br>(受付9:15より)   | 2F 会議室1:2            |
|           | 受付                      | 12:00より                    | 3F ホール前              |
|           | フォーラム                   | 13:00~16:00                | 3F ホール               |
|           | 総懇親会                    | 16:15~17:15<br>18:00~20:00 | 3F ホール<br>京王プラザホテル札幌 |
| 6日<br>(日) | 受付                      | 9:15より                     | 2F 消費者センター展示コーナー     |
|           | 研究発表                    | 9:30~15:15                 | 3F ホール               |
|           | 第1会場                    | 9:30~15:15                 | 2F 環境研修室             |
|           | 第2会場                    | 9:30~15:15                 | 2F 会議室1・2            |
|           | 第3会場<br>第4会場<br>(昼食・休憩) | 9:30~15:15<br>11:45~13:00  | 2F 会議室3・4            |

## ◎フォーラム

「消費者市民としてのSDGsへの責任  
—北海道の取り組みから—」

### 第1部 基調講演

「北海道から変革する。SDGsと私たちの暮らし」  
有坂 美紀 氏 (RCE 北海道道央圏協議会 事務局長)

### 第2部 パネルディスカッション

「持続可能な生産と消費を考える  
—北海道の事例から—」

#### パネリスト

佐竹 輝洋 氏  
(札幌市 環境局 環境都市推進部 環境計画課 推進係長)

藁島 豪 氏  
(下川町 政策推進課 SDGs推進戦略室長)

山口千恵子 氏  
(札幌市立札幌大通高等学校 英語教諭)

渡邊 大介 氏  
(株)アレフ エコチームリーダー)

#### コーディネータ

橋長真紀子 氏  
(札幌学院大学教授)

参加費 会員 5,000円 (当日 6,000円)  
学生・非会員 3,000円 (事前・当日同じ)

懇親会費 5,000円 (事前申込みのみの受付)  
(会員・学生会員のみ参加可)

申込方法 学会ホームページよりウェブサイトによる受付

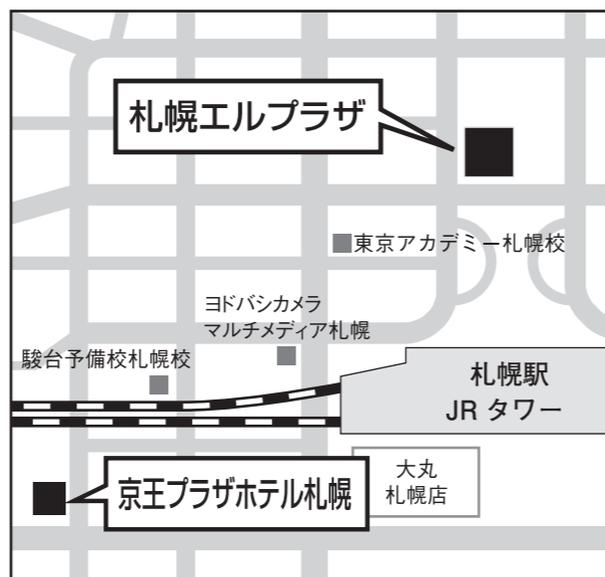
申込締切 2019年9月13日 (金)

参加費の払込 合計金額をゆうちょ銀行へ払込ください。  
名義 ニホンショウヒシャキョウウイクガツカイダイサン  
ジュウキュウカイジッコウイインカイ

◆ゆうちょ銀行から振込  
記号 19060 番号 57182691

◆他の金融機関からの振込  
店名 九〇八 店番 908 種目 普通預金  
口座番号 5718269

振込締切 2019年9月13日 (金)



○大会会場：札幌エルプラザ  
札幌市北区北8条西3丁目

○懇親会会場：京王プラザホテル札幌  
札幌市中央区西7条2丁目1

## ごあいさつ

日本消費者教育学会会長 東 珠 実  
(相山女学園大学 教授)

このたび、日本消費者教育学会第39回全国大会が札幌で開催されることになりました。消費者庁設立後丸10年が経過し、消費者行政における消費者教育の位置づけは、ますます重要なものとなっています。また、成年年齢引下げや新学習指導要領の実施、SDGsやSociety5.0がもたらす新しい社会など、消費者教育に対応が求められる課題は一層多様化しています。

そのようななか、本大会では、近年、社会的関心が高まっているSDGsについて、開催地の地域性を踏まえた講演やシンポジウムが企画されています。自然豊かな北の地で、改めて皆様とともに、地域と地球のいまと未来について考えたいと思います。

鎌田浩子大会実行委員長をはじめ、北海道・東北支部の皆様のご尽力に深く感謝申し上げます。

## 歓迎のことば

第39回全国大会実行委員長 鎌田 浩子  
(北海道教育大学釧路校 教授)

令和初の全国大会を北海道にて開催できることをうれしく思っております。

北海道はでは昨年胆振東部地震を経験し、近年は毎年のように大型台風が通過していきます。こうした自然環境の変化の多くは人為的なものだといわれ、自然豊かな北海道でもますます持続可能な社会をめざした消費者教育が求められています。また、今回の大会の研究発表は、成人年齢引き下げや新たな学習指導要領の実施などテーマは多岐にわたっております。

大会の開催にあたっては、札幌市のご協力を得て、札幌エルプラザを会場としてご提供いただき、快適な環境で大会を開催できますことを心より感謝申し上げます。

実りの多い大会となりますよう、多くの皆様のご参加をお待ち申し上げます。

## 第39回

# 日本消費者教育学会 全国大会プログラム



【開催期日】2019年10月5日(土)~6日(日)

【会場】札幌エルプラザ  
札幌市北区北8条西3丁目

【共催】札幌市

【後援】北海道  
日本学術会議生活科学系コンソーシアム  
フェアトレードタウンさっぽろ戦略会議

# 研究発表プログラム

◆ 口頭発表／2019年10月6日（日）

## 第1会場（3F ホール）

午前の部 9:30～11:45

1-1 地方消費者行政の消費者教育推進指標からみた全国主要都市の動向と課題 ○色川卓男 [静岡大学]

1-2 家庭内の食品ロスの実態と関連要因 ○石島恵美子 [茨城大学]

1-3 和歌山県における高齢者の買い物意識と地域環境  
ー地域講座参加者への調査からー ○和田博子 [大阪教育大学(非)]  
石川智子 [大阪教育大学(非)]  
野田文子 [関西福祉科学大学]

1-4 親子を対象とした消費者市民教育の実践 ○雪美保子 [京都消費生活安全センター]

午後の部 13:00～15:15

1-5 アクティブシニアの情報通信環境による消費行動 ○柿沼由佳 [公益社団法人全国消費生活相談員協会]

1-6 若年者の契約知識と消費生活の実態・意識との関連 ○坂本有芳 [鳴門教育大学]

1-7 若者による化粧品の消費行動からみる教育手法の検討 ○森山三千江 [愛知学泉大学]  
三輪聖子 [岐阜女子大学]

1-8 キャッシュレス決済の推進に伴う消費者教育のあり方について  
ー韓国消費者院へのヒアリング及び日本の高校生への意識調査等の分析を通してー ○小野由美子 [東京家政学院大学]  
上杉めぐみ [愛知大学]

## 第2会場（2F 環境研修室）

午前の部 9:30～11:45

2-1 ドイツにおける「こどものまち」とSDGs  
ーFEZittyを事例としてー ○小田奈緒美 [就実短期大学]  
東珠実 [椋山女学園大学]

2-2 ドイツにおける「こどものまち」とSDGs  
ーMini Münchenを事例としてー ○東珠実 [椋山女学園大学]  
小田奈緒美 [就実短期大学]

2-3 SDGs学習の視点から考える持続可能な能力開発のステップ  
ーキャリアデザインのためのコンピテンシーの開発ー ○加渡いづみ [四国大学短期大学部]  
薄羽美江 [株式会社エムシープランニング]

2-4 Ethical Consumer育成にむけて  
ー共感性、日常モラル、自尊心に着目してー ○吉井美奈子 [武庫川女子]

午後の部 13:00～15:15

2-5 若年層に対する継続的な消費者教育の取組に関する研究 ○寺地一浩 [日本経済大学]

2-6 地歴・公民科教員の消費に対する意識から考察する経済教育 ○高橋勝也 [名古屋経済大学]

2-7 消費者製品安全教育の推進を図る教員向けガイドの開発 ○石川智子 [大阪教育大学(非)]  
大本久美子 [大阪教育大学]

2-8 中国と日本の小学生の消費生活に関する実態 ○靳一鳴 [大阪教育大学大学院(院生)]  
鈴木真由子 [大阪教育大学]

## 第3会場（2F 第1・2会議室）

午前の部 9:30～11:45

3-1 消費者教育における教育方法の差による学習効果の分析  
ー高等学校での契約・クレジットカードに関する学習に焦点をあててー ○村上睦美 [奈良教育大学]  
塩田真吾 [静岡大学]

3-2 公正で健全な市場の担い手を育む商業教育の意義と課題  
ー高等学校教育を中心としてー ○河原佑香 [滋賀県消費生活センター]

3-3 損害保険教育による受講生の意識変容  
ー自由記述の分析よりー ○田中由美子 [九州女子大学]

3-4 消費生活サポーターに関する一考察  
ー埼玉県下における基礎自治体調査からー ○釘宮悦子 [NACS消費生活研究所]

午後の部 13:00～15:15

3-5 特別な配慮を要する子どもに対する社会の情報化に対応した消費者教育の現状と課題  
ー高等部教員のフォーカスグループインタビューよりー ○上野顕子 [金城学院大学]  
新谷洋介 [公益財団法人学習情報研究センター]  
長谷川元洋 [金城学院大学]

3-6 特別な配慮を要する子どもに対するガチャ疑似体験ゲームの開発とその効果 ○新谷洋介 [公益財団法人学習情報研究センター]  
上野顕子 [金城学院大学]  
長谷川元洋 [金城学院大学]

3-7 教職課程履修学生を対象とした消費者教育としての学習と質問作り(QFT)による授業方法の学習の二重構造にした授業の実践 ○長谷川元洋 [金城学院大学]  
清水克博 [愛知教育大学]  
上野顕子 [金城学院大学]  
新谷洋介 [北海道高等専門学校]

3-8 教職大学院における消費者教育の可能性 ○神山久美 [山梨大学]

## 第4会場（2F 第3・4会議室）

午前の部 9:30～11:45

4-1 コンシューマー・リーガルリテラシーを育むドイツの消費者市民教育  
ーエシカル消費に焦点をあててー ○大本久美子 [大阪教育大学]  
加賀恵子 [弘前大学]  
鈴木真由子 [大阪教育大学]

4-2 地域の社会資源と結んだ消費者教育  
ードイツ・バイエルン州のLTITAによる授業実践をもとにー ○加賀恵子 [弘前大学]  
鈴木真由子 [大阪教育大学]  
大本久美子 [大阪教育大学]

4-3 キャリアデザインと関連させた海外の消費者教育  
ードイツ及びオーストラリアの事例よりー ○鈴木真由子 [大阪教育大学]  
大本久美子 [大阪教育大学]  
加賀恵子 [弘前大学]

4-4 高齢期の生活設計をサポートするエンディング・プランニング・ゲームの開発 ○大藪千穂 [岐阜大学]  
奥田真之 [愛知産業大学]  
二木 恵 [金沢大学]

午後の部 13:00～15:15

4-5 成年年齢引き下げに対応した発達段階別プログラムの開発と実践 ○大森節子 [NPO法人C・キッズ・ネットワーク]  
小川桂子 [NPO法人C・キッズ・ネットワーク]  
何慧貞 [NPO法人C・キッズ・ネットワーク]  
蘆田知子 [NPO法人C・キッズ・ネットワーク]

4-6 若年層の美容医療・エステティックサービスラブルの未然防止につながる消費者教育  
ー成年年齢引下げに対応した啓発リーフレット制作ー ○今城茜 [川崎医療福祉大学]  
田村久美 [川崎医療福祉大学]

4-7 産学連携の食育授業を通じてのキャリア教育の可能性と課題  
ー高等学校の家庭科の授業での実践よりー ○川口徳子 [日本ハム株式会社・日本ヒーブ協議会]

4-8 牛乳有害説に基づく消費者向け科学リテラシー教材の開発  
ーテラーメイドの消費者教育に向けてー ○山本輝太郎 [明治大学大学院]